

大田高校の100年

エピソード展

場所 大田市立中央図書館
2階 展示ホール

期間 12月1日(木)~18日(日)
午前10時から午後5時まで

百年の時の中で
三瓶の名山に
大田の流れに
石見の瀉に そして
石見銀山に
育まれた学び舎で
繰り広げられた
さまざまなエピソード
ちょっと、のぞいて
みませんか...



展示の一部を紹介します

学校が原爆病院になった日

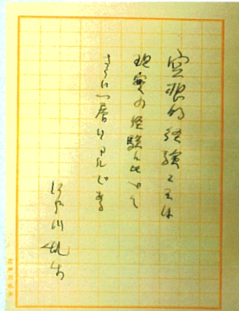
大田中学と大田女学校は太平洋戦争中広島陸軍病院大田分院となり、広島から被爆者が運ばれてきた時、女学校生14名はその看護等にあたりました。

戦後45年、大田高校放送部はこれ取材し、「九十九の柩」他の番組を作り、演劇部はこれを題材にオリジナルの「星空の卒業式」を上演しました。



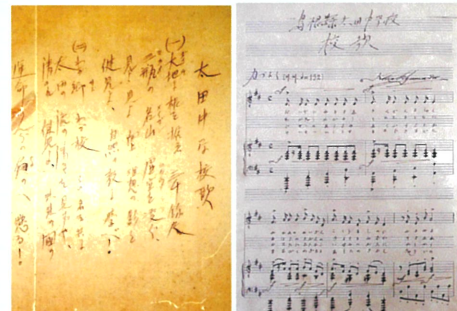
図書館の宝物 有名作家の筆蹟

図書館の書庫に60年前の生徒たちが集めた作家の筆蹟が多数は保存されていました。まさに「図書館の宝物」でした。昨年11月、この事実を公表すると新聞社、通信社、テレビ局が相次いで取り上げ、全国30を超える新聞がこれを取り上げました。作家筆蹟の発見から、公表後のこの1年を紹介します。



作曲料が払えない 校歌誕生秘話

大田高校の校歌は、土井晩翠作詞、山田耕筰作曲です。昭和の初め、大田高校には、有名作曲家の作曲料について知る人はなく、あまりの高額の請求書にびっくり。さて…



大田高校と共に百年 泰山木



現在、大田高校に創立時からあるものは唯一つ。それが「泰山木」です。創立時に寄贈され、校舎（3階建て）の最上階に達するほど成長しましたが、昭和49年の火災で、幹が半分焼け、それでも生き残り、2度の移植を経て、現在の岩谷会館横に。齢100才を超える老木ですが、今年も白く大きな花を咲かせました。

旧制大田中学校の甲子園



旧制大田中学は春夏各1回甲子園に出場しています。その時の模様と地元の様子を取り上げました。特に昭和16年春は、太平洋戦争で中断する前の最後の甲子園でした。出場校は16校。その中に大田中学がいたのです。

激闘35回 大田中vs松江中

松江中 100 000 000 000 000 000 000 00=1
 大田中 000 010 000 000 000 000 000 00=1
 大田中 000 000 000 001=1 上：延長23回
 松江中 000 000 000 000=0 下：延長12回

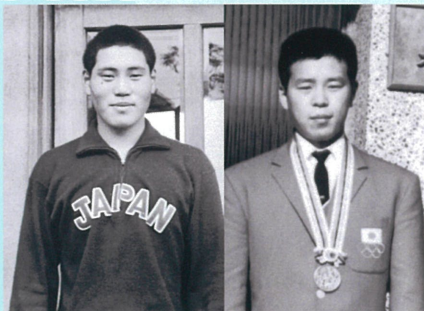
昭和10年の夏の県大会1回戦大田中対松江中の試合は2日間35回の激闘でした。主催の朝日新聞社は両校の健闘を讃え、地区予選では異例の「朝日牌」を贈りました。



朝日牌

栄光の水泳部・大田高校とオリンピック

水泳部は大田中学、大田高校の花形でした。中でも永井正員は高校在学中に五輪代表候補になり、岡部幸明は前の東京オリンピックに出場、4×200mリレーでは銅メダリストになりました。



2つの応援部の物語



かつて応援部は県内でも有名でした。そのきっかけは、昭和34年、4人の生徒が大学の応援部の合宿に参加したことでした。また、その年の甲子園では女子応援リーダーが登場したのです。

学園祭名物 クラス仮装大会



昭和50年代前半まで、体育祭のメインはクラス対抗の仮装大会でした。全学年各クラスが、歴史や大河ドラマなどを題材に趣向を凝らし、グラウンドを一周、本部席前で数分のパフォーマンスを披露しました。体育祭から独立したイベントになった年もありました。

全国に挑む 各部の活躍の軌跡

大田高校の部活動。生徒の皆さんは日々努力を続けています。弓道部、柔道部、写真部、美術部などの各部が、全国(全国高校総体・全国高校総文祭など)に挑んだ様子を、写真、新聞、作品等で紹介します。



8月発行の「大田高校百周年記念史誌」中のコラムを基に、令和3年・4年大田高校文化祭で展示したものを再構成しました。コロナ禍で一般公開できず、ぜひ一般の皆様にもご覧いただきたくこの展示を企画しました。ご来場をお待ちしています。